

# 津山高校

第5号



## 関東同窓会だより

総会報告、懇親会、作品展、総会参加者名簿、津山高校ニュース、  
活躍する卒業生たち、作州のニュース  
美土路昌一先生を想う、こんなことやってます、  
同窓会役員・常任委員一覧

# 総会・懇親会 2019

岡山県立津山高等学校関東同窓会  
2019年度 総会・懇親会

日時：2019年9月28日(土)  
12時～14時00分

場所：Nagatacho G RiD[永田町グリッド]  
6F ATTIC

参加者：172名

式次第

【総会】

- 1.開会挨拶
- 2.議長・書記選出
- 3.一号議案  
2018年度活動報告・決算報告・監査報告
- 4.二号議案  
2019年度活動案・予算案
- 5.三号議案 役員を選任案(追加)

【懇親会】

- 開会挨拶  
来賓紹介・来賓挨拶  
乾杯  
交流トークタイム  
和っしょい!津山  
写真撮影  
校歌斉唱  
閉会挨拶

## あいさつ

関東同窓会会長 増田 美子

本日は、津山高校関東同窓会第62回総会・懇親会にお集まりくださり、ありがとうございます。津山の同窓会からは山本副会長・馬場副会長が、津山高校からは河本津山中学副校長、同窓会事務局の植月先生も駆けつけてくださり、また今回特別に、岡山県東京事務所の榎尾所長、美咲町の忠政副町長もご参加下さっております。みなさま御多忙の中を、ありがとうございます。

本日の総会・懇親会は、「つながる、そして生まれる『みんなの縁日』」をテーマに、先輩・後輩の縁をつなげるということが、一つのコンセプトとなっているようです。また幹事学年のたつての希望で、若い世代に沢山参加していただきたいという思いから、会費を低く抑えました。ということで、手作り感あふれた会場となっておりますが、幹事学年が色々創意工夫をしてくださっておりますので、お楽しみいただけるかと存じます。子育て世代も参加できるようにと、初めてキッズルームが設けられました。子どもたちの遊ぶ姿も、心なませてくれるかと思えます。恒例の作品展も開催されております。少し奥まったところですが、力作ぞろいですので、ゆっくりとご鑑賞くださいませ。



## 2018年度決算報告・活動報告(2018年4月1日～2019年3月31日)

収入の部	
項目	金額
総会・懇親会費	1,043,000
年会費	976,000
ご祝儀	60,000
預金利息	13
協賛金	150,000
その他(寄付・借入金他)	0
年度実収入計	2,229,013
前年度繰越金	2,234,395
収入合計	4,463,408

支出の部	
項目	金額
総会・懇親会費用	1,280,457
会議費等	427,581
印刷費等(会報紙189,000)	433,188
通信費等	592,335
ホームページ運営費	6,994
振込手数料(郵便振込)	48,604
受取人払い(返信ハガキ)	35,137
その他(雑費)	36,554
年度実支出合計	2,860,850
次年度繰越金	1,602,558
支出合計	4,463,408

災害義捐金	732,500
-------	---------

災害義捐金(日赤岡山支部)	732,500
---------------	---------

## 2018年度津山高校関東同窓会活動報告

- 05/06 会報第3号編集委員会第5回
- 06/02 会報第3号編集委員会第6回
- 06/23 拡大役員会
- 07/14 総会案内・会報封入作業
- 09/01 拡大役員会
- 会報第4号編集委員会第1回
- 09/29 2018年度総会・懇親会
- 12/22 忘年会・反省会
- 会報第4号編集委員会第2回
- 02/16 拡大役員会
- 会報第4号編集委員会第3回
- 03/30 常任委員会
- 会報第4号編集委員会第4回

## 2019年度予算・活動(案)(2019年4月1日～2020年3月31日)

収入の部	
項目	金額
総会・懇親会費	900,000
年会費	950,000
ご祝儀	60,000
預金利息	20
協賛金	135,000
その他(寄付)	100,000
年度実収入計	2,145,020
前年度繰越金	1,602,558
収入合計	3,747,578

支出の部	
項目	金額
総会・懇親会費用	860,000
会議費用	400,000
印刷費等(会報紙192,500)	300,000
通信費等	400,000
ホームページ運営費	10,000
振込手数料(郵便振込)	45,000
受取人払い(返信ハガキ)	45,000
その他(雑費)	20,000
年度実支出合計	2,080,000
次年度繰越金	1,667,578
支出合計	3,747,578

## 2019年度津山高校関東同窓会活動計画(案)

- 05/06 会報第4号編集委員会第5回
- 06/08 会報第4号編集委員会第6回
- 06/29 拡大役員会
- 07/20 総会案内・会報封入作業
- 09/07 拡大役員会
- 会報第5号編集委員会第1回
- 09/28 2019年度総会・懇親会
- 12月 忘年会
- 会報第5号編集委員会第2回
- 2月 拡大役員会
- 会報第5号編集委員会第3回
- 3月 常任委員会
- 会報第5号編集委員会第4回

## 45期幹事あいさつ

テーマを「みんなの”縁”日」とし、みんなの縁がつながる日となりました。

キッズルームを用意したため子育て世代の参加が増えたり屋台を出して津山のお菓子の販売や、子供向けのコーナーを作るなど、子供の声が混じるにぎやかな会になりました。また、会の後半は出身中学校毎に輪を作り、地元話に花が咲きました。意外に近所の人が多いことに驚きつつ、世代を超えた新しい縁ができました。最後は、校歌斉唱でみんなが一体となり、遠い津山を想いつつ、関東での縁の結束を固めました。

みなさんのご協力を得ながら新しい取り組みができ、盛り上がったことは、本当に良かったです。これからも多くの参加があることを願っています。

<45期幹事一同>



## 役員紹介

会長	増田 美子 (昭37卒)
副会長	竹内 妙子 (昭36卒)
	中島 純三 (昭42卒)
	水田 潤子 (昭46卒)
	山本 大 (昭49卒)
	日下 康幸 (平4卒)(新任)
監事	佐栗 慎二 (昭36卒)
	泉 昭正 (昭37卒)
顧問	片岡 廣治郎 (昭35卒)

## 岡山県立津山高等学校関東同窓会会則

(総則)

第1条 本会は、岡山県立津山高等学校関東同窓会と称し、略称として津山高等学校関東同窓会を用いる。本会の設立は、1958年5月26日である。

第2条 本会の所在地は、東京都豊島区池袋2・57・2である。

第3条 本会は、会員相互の親睦を図り、母校の発展に助力することを目的とする。

第4条 本会は、その目的を達成するために、次の事業を行う。

- 一 総会・懇親会の開催。
- 二 会報誌「津山高校関東同窓会だより」の発行。
- 三 その他本会の目的達成に必要な事項。

(会員)

第5条 本会は、次の各号の者を会員として組織する。

- 一 関東地域在住者で、岡山県立津山中学校・同津山高等女子学校・同津山成美高等学校・同津山高等学校の各学校を卒業した者、及び各学校に1年以上在籍し本会に入会を希望する者。
- 二 関東以外の地域の在住者で、岡山県立津山中学校・同津山高等女子学校・同津山成美高等学校・同津山高等学校の各学校に1年以上在籍し本会に入会を希望する者。

第6条 本会の会員は、所定の会費(2,000円)を納入するものとする。

第7条 本会の事業を妨げ、または本会の名誉を汚すような行為をした者は、役員会の決議によって除名することができる。

(役員・委員)

第8条 本会には、次の役員及び常任委員をおく。

- 一 役員  
会長1名 副会長 5名以内 事務局長 1名 監事 2名
- 二 常任委員  
原則として各期男女各1名ずつ

第9条 会長は役員会が推薦し、総会の承認を経るものとする。

第10条 副会長、事務局長及び監事は会長が任命し、総会の承認を経るものとする。

第11条 会長は本会を代表し、会務を統括する。副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、副会長の内の1名がこれを代行する。会長業務を代行する副会長の選出は、副会長間の互選によるものとする。  
事務局長は、本会の事務全般を統括する。監事は、本会の資産の状況・役員会の業務執行状況を監査する。

第12条 常任委員は、原則として各期で選出するものとする。

第13条 会長は、必要に応じて若干名の総務担当委員を任命することができる。総務担当委員は、庶務・会計等の業務を担当する。

2 本会は必要に応じて顧問をおくことができる。顧問は、役員会の推薦による。  
第14条 役員、常任委員、総務担当委員及び顧問の任期は2年とする。ただし、重任を妨げない。

(会議)

第15条 本会の会議は、総会、役員会、拡大役員会及び常任委員会とする。

第16条 総会は年1回の通常総会と臨時総会とし、臨時総会は必要に応じて開く。

第17条 総会は会長が招集し、決議は出席者の過半数の同意によるものとする。

第18条 総会は次の事項を承認または決議する。

- 一 事業計画及び収支予算の決議に関する事項。
- 二 前年度の事業報告及び収支決算の承認に関する事項。
- 三 会則の変更に関する事項。
- 四 役員を選任に関する事項。
- 五 その他役員会で必要と認めた事項。

第19条 役員会は、役員により構成され、必要に応じて会長が招集する。

第20条 拡大役員会は、役員・総務担当委員及び当該年度総会開催担当期幹事により構成され、必要に応じて会長が招集する。

第21条 常任委員会は、役員・総務担当委員及び常任委員により構成され、必要に応じて会長が招集する。

(会計)

第22条 本会の経費は、会費・寄付金及びその他の収入をもってあてる。

第23条 本会の会計年度は4月1日より始まり、翌年3月31日に終わる。

(改正)

第24条 本会則の改正は、総会の決議により行う。

(付則)

- (1) 本会則は1958年5月26日より施行する。
- (2) 本会則は2008年6月14日より施行する。
- (3) 本会則は2010年9月11日より施行する。
- (4) 本会則は2012年9月29日より施行する。
- (5) 本会則は2016年9月24日より施行する。
- (6) 本会則は2018年9月29日より施行する。



幹事の皆様、また模擬店を出された皆さまお疲れ様でした。



今年はアットホームな雰囲気良かったです。



大変楽しい時間を過ごさせていただきました

来年



来賓の皆様



関東同窓会新役員：  
日下 康幸 副会長  
(平4卒)



守谷輸送機工業株式会社

顧問 安東 穆

守谷エレベーター

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 3-12-8  
TEL 03(6228)3460代  
FAX 03(6228)3350



昭和 35 年卒

NHK 会友

中村 宏

津山高校いざよう会 (11期)

昭和 35 年卒

小林邦江税理士事務所

税理士 小林 邦江

〒224-0055 横浜市都筑区加賀原1-24-1-203  
TEL 045(943)4721  
FAX 045(943)8107  
E-mail:kobaka@kch.biglobe.ne.jp

昭和 35 年卒



# 総会・懇親会 2019

津山高校同窓生の結束力の固さを実感できました。

## 高等学校 窓会



キッズルーム最高

卒業の卒業生受け入れパーティーカンパも皆様のおかげで集まりました！



※ 吹き出しのコメントは関東同窓会の Facebook のページ等に寄せられた参加者のコメントから抜粋しております。

一般社団法人 進化経営学院

創設の辞  
逆境練機 転原自在  
経営進化 互惠共栄

代表理事 黒田悦司

〒311-3508 茨城県行方市沖洲1543-10  
☎ 0299-57-0377  
URL <http://rinen.gr.jp/>

昭和 37 年卒

空調周辺機器総合メーカー

**UCAN**® UCAN CO.,LTD.

代表取締役  
安 藤 馨

**ユーチャン株式会社** 加湿器、全熱交換器、ドレン処理機

本 社  
〒193-0832 東京都八王子市散田町5-6-19  
TEL042-665-8846 FAX042-661-3887  
(携帯電話 090-3192-2631)  
URL <http://www.ucan.co.jp/> E-mail : [i\\_ando@ucan.co.jp](mailto:i_ando@ucan.co.jp)

昭和 39 年卒

カフェ・バー  
**GORI**



藤本 宣  
礼子

東京都新宿区新宿 1-17-11 大洋ビル 1F  
TEL. 03-3353-1294

昭和 41 年卒

# 作品展 2019

絵画・水墨画・書道・陶芸・写真等、同窓生の作品が展示されました。



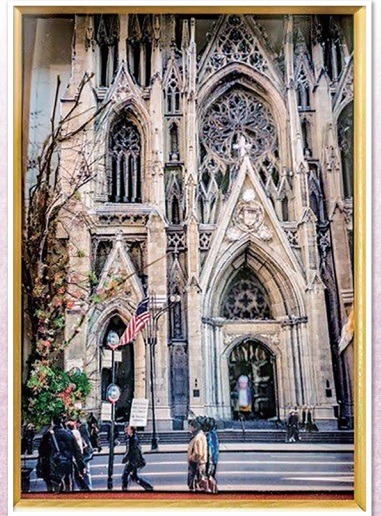
光井 一輝  
平27卒



竹内 妙子  
昭36卒



竹内 妙子  
昭36卒



水田 潤子  
昭46卒



松井 陽子  
昭46卒



佐々 慎二  
昭36卒

2021年の総会にも作品展を開催します。どうぞ皆様ご出展ください。

東海大学校友会館 霞が関ビル 35階  
The Tokai University Club

取締役会長  
**後藤 俊郎**  
学校法人東海大学 理事 評議員  
東海大学学園校友会 会長

株式会社 霞ヶ関東海倶楽部  
東京都千代田区霞が関3-2-5 (03)3581-0121(代表)  
霞が関ビル35階 〒100-6035 (03)3581-0129(FAX)  
e-mail: gon@tokai35.jp https://www.tokai35.jp

昭和 41 卒

株式会社 オアシスMSC

会長  
**佐田 通明**

〒157-0065  
東京都世田谷区上祖師谷6-1-9

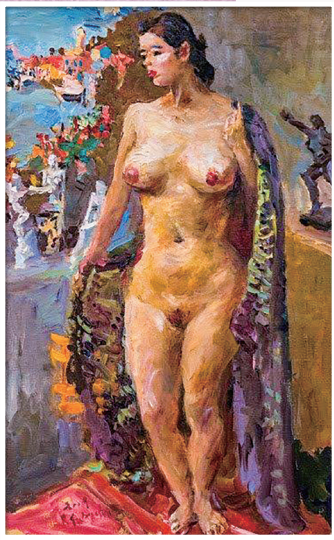
昭和 41 卒

IDR The Institute of Marketing & Distribution Research  
アイディーアール 一般社団法人 流通問題研究協会

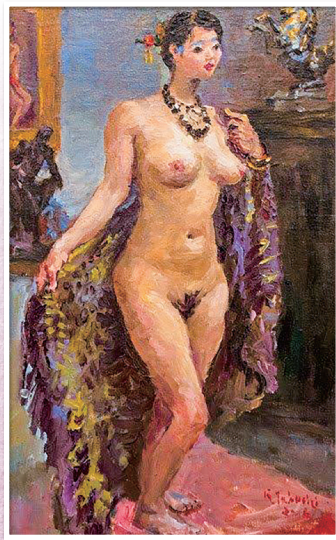
(社)流通問題研究協会 副会長  
青山学院大学 名誉教授  
**三村 優美子**

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8  
機械振興会館 4F  
Tel: 03(3436)1686  
Fax: 03(3436)1690  
E-mail: mykayama987@sweet.ocn.ne.jp  
http://www.idr.or.jp/

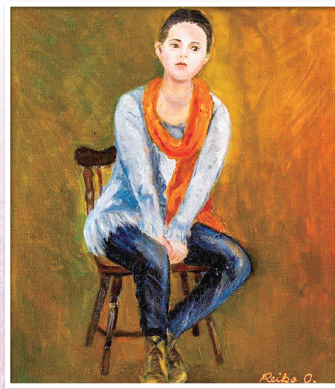
昭和 44 卒



田淵 隆三  
昭35卒



田淵 隆三  
昭35卒



岡本 玲子  
昭36卒



中原 正倫  
昭38卒



片岡 廣治郎  
昭35卒



菊地 芳子  
昭31卒



河本 倫子  
昭54卒

寺坂 拓亜  
昭35卒

## 出品者一覧

作者名(雅号)	卒業年	種別
菊池芳子	昭31	鎌倉彫
片岡廣治郎	昭35	陶芸
寺坂拓亜	昭35	陶芸
田淵隆三	昭35	油絵
竹内妙子(竹内紅妙)	昭36	彩色水墨画
岡本玲子	昭36	油絵

作者名(雅号)	卒業年	種別
佐々慎二	昭36	写真
中原正倫	昭38	油絵
松井陽子(松井陽水)	昭46	水墨画
水田潤子	昭46	デコラティブアレンジメント
河本倫子	昭54	陶芸(赤楽)
光井一輝	平27	書画

小林・福井法律事務所

弁護士  
小林 元治

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6丁目12番6号  
コアロード西新宿203号  
TEL: 03-3343-6088(代表)  
FAX: 03-3343-3395  
E-mail: m.kobayashi@kobafuku-law.jp  
URL: http://www.kobafuku-law.jp

昭和 45 年卒

クレバリーホーム

代表取締役  
井家上 進

株式会社 新昭和FCパートナーズ  
〒299-1144 千葉県君津市東坂田4-3-3  
Phone: 0439-50-3371(代) Fax: 0439-50-3373  
E-mail: susumu.ikegami@shinshowa.co.jp  
https://www.cleverlyhome.com/

昭和 46 年卒

美作三湯・奥津温泉

名泉鍵湯 **奥津 壮**

女将 **鈴木 和枝**

〒708-0503 岡山県苫田郡鏡野町奥津48  
電話 (0868) 52-0021  
FAX (0868) 52-0608  
http://okutsuso.com  
E-mail info@okutsuso.com

昭和 46 年卒

# 総会・懇親会参加者名簿 2019 (敬称略)

## 来賓

昭45卒	津山高校同窓会副会長	山本 俊彦
昭47卒	津山高校同窓会副会長	馬場 茂

昭60卒	津山中学校 副校長	河村 尚
昭62卒	津山高校同窓会 事務局長	植月 透

	岡山県東京事務所	槇尾 俊之
昭51卒	美咲町 副町長	忠政 堅之

## 会員

卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名
昭25	川上 富次	昭36	佐藤 恭子	昭42	安藤 三男	昭56	勝田 祐輔	平05	塚田 朝子	平08	岡部 倫典
昭26	小賀 由章	昭36	竹内 妙子	昭42	金本 正行	昭56	香山 卓士	平05	村上 智之	平08	居森 文和
昭28	横山 多加子	昭37	浅沼 暢子	昭42	桜井 康恵	昭56	河村 郁典	平06	井上 昭徳	平08	白岩 真人
昭29	岩野 弘	昭37	泉 昭正	昭42	中島 純三	昭56	為本 吉彦	平06	河本 英人	平10	仲井 寛明
昭31	菊地 芳子	昭37	大森 慎	昭42	堀内 慎一	昭58	内田 広勝	平06	築山 秀樹	平11	小谷 匠平
昭31	里見 紀子	昭37	小原 晋	昭43	黒瀬 英夫	昭58	鈴木 祐子	平06	春名 伸昭	平14	篠崎 茜
昭31	直原 正	昭37	黒田 悦司	昭46	井家上 進	昭58	和治元 義博	平06	日神山 晃一	平14	宮島 聡子
昭31	白岩 良一	昭37	斉藤 正子	昭46	植月 雅文	昭59	有本 和雄	平06	若山 圭介	平22	西本 卓司
昭31	隅田 憲平	昭37	須田 隆夫	昭46	檜尾 守昭	昭60	大谷 俊典	平06	安藤 良	平22	和田 有希
昭33	坂手 彰	昭37	谷口 彬雄	昭46	松井 陽子	昭60	河原 敏朗	平06	内田 節子	平26	落合 厚
昭34	石原 公子	昭37	土屋 リ工子	昭46	水田 潤子	昭60	馬場 陽子	平06	高瀬 由香里	平27	河原 正明
昭34	岩下 尚子	昭37	福田 美里	昭47	原 雅彦	昭61	芦田 将	平06	小山 泰子	平27	田村 優汰
昭34	塚原 淳一	昭37	増田 美子	昭48	関 幸枝	昭61	黒田 俊恵	平06	小佐野 優子	平28	中西 啓
昭34	羽矢 紀世美	昭37	山本 茂樹	昭48	永松 呉葉	昭61	福嶋 聡泉	平06	上場 理江	平28	藤田 太郎
昭35	安東 穆	昭38	中原 正倫	昭49	松下 いづみ	平03	日下 ゆりあ	平06	結城 里恵	平29	笹井 健司
昭35	片岡 廣治郎	昭39	安藤 磐	昭49	山本 大	平03	谷口 聡	平06	中岡 花子	平32	井上 翔太
昭35	田淵 隆三	昭39	梶谷 幹男	昭50	田和 一樹	平04	日下 康幸	平07	岡田 直子	平32	上原 大和
昭35	寺坂 拓垂	昭41	赤木 省三	昭50	山田 雅義	平04	國井 美由紀	平07	可児 奈穂子	平32	角南 遼太
昭35	藤田 康二	昭41	大原 嘉恵	昭51	生駒 郁子	平04	妹尾 研作	平07	川端 啓太	平32	山口 卓
昭36	江原 英治	昭41	梶 京子	昭51	生駒 泰正	平04	花村 浩二	平07	小西 光春		
昭36	岡本 玲子	昭41	佐田 通明	昭53	小泉 伊穂美	平04	宗政 貴典	平07	小堀 さとみ		
昭36	頃安 健司	昭41	清水 義昭	昭54	安達 靖枝	平05	磯田 暁男	平07	武藤 由紀恵		
昭36	近藤 達也	昭42	天池 恵	昭54	河本 倫子	平05	木村 暢恵	平07	森 亜矢子		
昭36	佐桑 慎二	昭42	安藤 滋子	昭54	松田 匡司	平05	徳田 泰二	平07	山下 弘展		

## 45期 46期津山京阪神参加

卒業年	氏名
平6	中尾 公治
平6	有木 志津加
平6	進賀 知加子

卒業年	氏名
平6	原田 浩之
平6	宇那木 真文
平6	矢山 文昭

卒業年	氏名
平6	安達 崇仁
平6	竹内 麻由美
平6	都井 恵

卒業年	氏名
平6	井上 佐緒理
平6	藤谷 一枝
平6	土居 大介

## 会員外

氏名
石井 洋子
大木 由美子

氏名
田村 暲子
日神山 ルイ

氏名
春名 日奈子

※上記以外、同伴子供 12名

かふえ花音  
江甲実子  
〒708-0046 津山市西今町 64 tel.0868-35-2919  
8:00~18:00(水曜日休み)



代表取締役会長  
OTSUKI TAKAYUKI  
大月 隆行  
ランデス株式会社  
本社/岡山県真庭市開田630-1 〒719-3192  
TEL 0867-52-1141(代) FAX 0867-52-3515  
https://www.landes.co.jp  
e-mail:t-otsuki@landes.co.jp




社会福祉法人 江原恵明会  
理事長  
江原 秀国  
〒708-0884 岡山県津山市津山口 306  
TEL:0868-23-2738

昭和 48 年卒

昭和 48 年卒

昭和 49 年卒



## 歴史を刻み続ける津山高校

岡山県立津山中学校 副校長 河本 尚

津山高等学校関東同窓会の皆様には、多方面でますます御活躍のことと拝察いたします。今回、関東同窓会の会報誌への寄稿は、津山中学校副校長の河本がいたします。

私は、県北初の併設型中高一貫教育校として平成27年4月に津山高等学校を母体として開校した津山中学校に、立場は変わりましたが開校時から勤務しています。津山高校を卒業して30年近くの歳月を経て、中学校の教員として再び椿高下の地に勤務することになるとは、夢にも思っていませんでした。中学校体育館の建設、旧図書館跡へのハンドボールコートの移設など、私が勤務している間でも様々な工事が行われ、歴史ある津山高校も刻々とその姿を変えて新しい時代に対応しようとしています。しかし、同窓生の皆様もよく御存じのとおり、変わらないものも椿高下の地にはたくさんあります。校地内には悠久の歴史とともに緑に覆われた十六夜山（前方後円墳）が鎮まり、その隣には凛とした風格と歴史を感じさせる旧本館が、国の重要文化財として椿高下の地に変わらず聳え立っています。



さて、工事といえば、令和元年度から令和2年度にかけて、昭和49年竣工の80周年記念館の長寿命化工事が本格的に行われています。本館前の東駐車場に

は工事用の仮設の事務所ができ、建物はすべて覆われて連日工事が行われています。食堂（現在は中学校技術教室になっています）や購買、音楽室などがあり、長日月にわたって津山高校生を見守ってきた建物も面目を一新し、さらにもこれから長きに渡って津山高校生・津山中生利用に供されることになります。



中学1年生から高校3年生まで、実に6学年にわたり1000人近い生徒がここ椿高下の地で学び、中学生・高校生がともに日々過ごしていますが、はじめは校内を行き来する中学生の姿に、高校生は少しの戸惑いと、ものめずらしさを感じていたようでした。しかし、すぐにその姿も日常的なものとなり、中学・高校の紐帯は、年月とともにますます強くなっていると感じています。これからも、津山中学校・津山高等学校は、中高一貫教育校だからできることを弛まず追求していきたいと考えています。

関東同窓会の皆様には、これからもかわらず母校に思いを馳せていただき、お支えをいただきますようお願い申し上げます。ありがとうございました。

### 令和2年度 関東を中心とした主要大学合格者数

国公立	東北	お茶の水	東京	東京工業大	横浜国立	横浜市立	金沢	静岡	名古屋	滋賀	大阪	神戸	岡山	広島	鳥取		
	2	2	2	1	1	1	2	3	2	1	6	1	22	5	14		
準大学	航空保安大	防衛大	防衛医科大	準大学合計							島根	山口	香川	愛媛	徳島	九州	国公立合計
	1	1	1	3							13	1	6	9	4	3	128
私立	学習院	慶応	芝浦工大	順天堂	専修	中央	東京理科大	法政	明治	早稲田	同志社	立命館	関西	関西学院	私立合計		
	1	3	1	1	2	2	5	5	4	3	8	22	33	10	472		


 取締役  
第1事業部長  
**山田 雅義**  

 エアアクション21  
**ハヤシレピック株式会社**  
 〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-28-3  
 Tel:03-3918-5623 Fax:03-3918-5683  
 E-mail:m-yamada@h-repic.co.jp  
 www.h-repic.co.jp

額田・井口法律事務所  
  
**額田 洋一**  
 NUKADA & IGUCHI Law Office  
 〒162-0843 東京都新宿区市谷田町 2-7-15  
 近代科学社ビル 6階  
 TEL : 03-3267-3201 FAX : 03-3267-3202

代表 税理士  
**松田 匡司**  
 Masashi Matsuda  

**作州会社** 経済産業省認定  
 sakushu.jp 経営革新等支援機関  
 〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-4-15 八重洲通りビル  
 TEL 03-6870-3552 FAX 03-6737-8884  
 Email matsuda@sakushu.jp

昭和50年卒

昭和50年卒

昭和54年卒

## 演奏を支える知的探求 ～私のバッハ像を求めて

福田 ひかり 氏  
(昭61卒)



### プロフィール

1990年国立音楽大学器楽学科(ピアノ)卒業。1993年東京学芸大学大学院、1995年東京藝術大学大学院(音楽学)修了。1992年パリで開催されたダリウス・ミヨー生誕100年記念公演に出演。一貫してJ.S.バッハの鍵盤作品の演奏と研究に取り組み、「バッハ・ツィクルス」(2005-2009)、「続バッハ・ツィクルス」(2010-2014)などを開催。2011年第8回津山国際総合音楽祭に出演。その他、オーケストラとの共演やデュオ、ジョイントコンサート等に多数出演。近年は音律や古楽器の研究にも取り組み、レクチャーコンサートやワークショップ、ピアノ指導者対象のセミナーの開催、雑誌『ムジカノーヴァ』への執筆など幅広く活動している。CD《バッハ: ゴルトベルク変奏曲》を今秋リリース予定。一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)正会員。  
公式サイト <http://hikari-fukuda.net/>

ピアニストと聞くと、来る日も来る日もひたすらピアノを弾いていると思われがちですが、実は「どう弾くか」を決めるための、いわゆる「お勉強」的な研究も行っています。楽曲分析は必須ですが、作曲経緯や意図といった作品に直接関係する事柄、作品が誕生した時代の歴史的背景や世界観、また種々の楽譜の比較等々、さまざまな面から曲を考察し演奏家は自分の音楽として音にしていきます。この「お勉強」的な分野は「音楽学」と呼ばれ、特に私が研究しているバッハの作品は音楽学の研究成果なしには良い演奏は成立しないと言っても過言ではないほど密接な関係にあります。音楽学は扱っている事項が複雑多岐なため残念ながら難解なイメージを持たれて敬遠されることも多いのですが、私自身は学部時代に素晴らしい音楽学の先生方に出会えたお陰で、大学院では西洋音楽史を専攻し、演奏と学問の架け橋的なことをしたいという思いを持って今に至ります。

バッハに関していえば、エディション研究や当時の楽器・演奏習慣に関する研究が進んだお陰でそれを反映した演奏も多く聞かれるようになり、演奏スタイルもここ2,30年の間に随分様変わりしました。その中で最近私が特に興味を持っているのは、当時の楽器に関してです。バッハの時代には当然現代のピアノはなく、専ら使われていたのはチェンバロとクラヴィコードでした。チェンバロはご存知の方も多いと思いますが、クラヴィコードは専門家でもなかなか目にする機会のない楽器です。音は大変小さく、バッハの時代でも演奏会ではなく専ら家庭内で弾かれていました。しかし非常に繊細な表現ができるのでバッハはこのクラヴィコードを最も愛したと言われており、この楽器を想定して書いたと思われる曲も多数存在します。実際に弾いてみると、チェンバロや現代ピアノでは決して味わえない独特のニュアンスが生まれます。「バッハはこのような表現を思い描いてこの旋律を書いたのか」とさまざまに思いを巡らせ、また次の音に耳を傾け

る、そんな至福の時間を多くの方に知ってもらいたい。そして、この経験の有無は現代ピアノでのバッハの演奏に大きく影響するのではない——そんな思いから、クラヴィコードを体験するワークショップやレクチャーコンサートを近年度々開催しています。さまざまな年齢・職種の方が毎回参加してくれますが、特に低学年のお子さんがいつも驚くべき発見をしてくれ、バッハが聴いたであろう音でその作品を弾く・聴くことの重要性だけでなく、音そのものを聴く耳を育てることの大切さも教えてくれる機会となっています。当時の楽器が私たちに語りかけるものを探して、現代ピアノでの私のバッハ像をこれからも追求していきたいと思えます。



## 『マルチタスク人材育成に向けて』

若山 圭介 氏

(平6卒)



### プロフィール

- 1975年 真庭市蒜山生まれ(旧真庭郡川上村)
- 1994年 津山高等学校卒業(バレーボール部所属)
- 1998年 上智大学法学部法律学科卒業
- 1998年 株式会社富士銀行入社(現 株式会社みずほフィナンシャルグループ)
- 2007年 双栄基礎工業株式会社入社 代表取締役社長就任
- 2014年 事業構想大学院大学事業構想研究科事業構想修士課程卒業
- 2015年 株式会社サナースの全株式取得により代表取締役会長就任(兼任)
- 2016年 SOEI ホールディングス株式会社設立により代表取締役社長就任(兼任)
- 2017年 浅層地盤改良のソリッドキューブ工法協会設立により会長就任(兼任)
- 2018年 東京都認定 SOEI グループ職業訓練校設立により理事長就任(兼任)
- 2019年 株式会社レガリスの全株式取得により代表取締役会長就任(兼任)

今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックの開催となりました。

建設業界では東日本大震災の復旧・復興、東京オリンピック・パラリンピックのインフラ需要、前回東京オリンピック時代に多く建設されたインフラの更新、維持・補修、さらには近年頻繁に発生する地震、豪雨災害、台風災害に対する防災・減災対策により需要が高まっています。

一方で、建設業界での就業者は500万人と言われている中でその3分の1以上が55歳以上という高齢化が進んでいるとともに、29歳以下の若手就業者は全体の1割程度であることから技術者・技能者の不足が深刻化しています。

我々 SOEIグループは地盤改良工事を主な事業としつつ、近年ではコンクリート構造物の維持・補修分野、建設エンジニア・機械エンジニアのエンジニア派遣分野も展開しています。

日本には地下水が多く、東京を始めとして沿岸部に都市が形成されていることから、構造物が軟弱地盤上に成り立っていることが多く、地盤改良工事の需要が高まっています。しかしながら、上述の通り技術者・技能者の不足が深刻化している状況は当グループにとっても例外ではありませんでした。

そこで通り一片の採用を行うのではなく、戦略を持って若手の採用を行うことにしました。まず、建設業界は求人倍率が4倍以上と言われている通り、決して人気職種とは言えない状況であること、工業高校卒の人材、理系の学部卒人材採用については大手建設会社との競合となることから圧倒的に不利であることを認識しました。

そこで気づいたのは、採用を進めている中で、理系学生だけではなく文系の学生もモノ作りや防災・減災などに関心をもつ学生が多い、ということでした。

当初は学生からも「文系で知識がないが大丈夫か？」社員からも「育てられるか？」という不安がありました。我々は総合建

設会社では無く専門建設会社であることから、習得しなければならない範囲は限られている、その分深く技術・技能を積み重ねていかなければならないが「一人一人丁寧に育てていけば必ずプロフェッショナルにできる」という信念を持ち採用にあたってきました。そして2018年には教育機関である職業訓練校もグループ内に設立しました。

結果、現在グループでの建設部門で社員250名中、過去5年で60名以上の採用を行うことができ、建設業就業者の平均年齢が47歳と言われる中、全従業員で平均年齢42歳、社員平均年齢で37歳まで引き下げることが出来ました。

そして2020年4月には5名の外国籍学生を含め22名の新入社員を迎える予定です。

文系学生がイコールオフィス業務ということではなく、技術者、技能者の機能も兼ね備える「マルチタスク人材」になることで、今後の職業人としての付加価値は向上していくものと信じています。

今後も技術者・技能者が営業業務・オフィス業務もこなせる「マルチタスク人材」の育成に努めてくことで、建設業界の課題解決に貢献していきたいと思えます。(2020年2月23日)



## 美作の国、悠久のパワースポットへ。

### 久米南町

#### 日本三大練供養

#### 誕生寺 にじゅうごぼさつねりくよう 二十五菩薩練供養

浄土宗の開祖、法然上人誕生の地「誕生寺」。毎年4月第3日曜日に行われている二十五菩薩練供養は、法然上人両親供養のため古くは室町時代から始まり、現在、岡山県の重要無形民俗文化財に指定されています。金色の菩薩面と法衣をまとった二十五菩薩と稚児、僧侶など総勢約200名が練り歩き、荘厳な極楽浄土絵巻が練り広げられます。「無苦往生」「病氣平癒」を願い、全国より数万人の参拝者で賑わいます。

【所在地】岡山県久米郡久米南町里方808

【問合せ先】誕生寺 電話086-728-2102

【アクセス】JR津山線「誕生寺駅」下車 徒歩10分



▲写真提供:久米南町

菩薩様、お稚児様にはどなたでもなれます。希望者は誕生寺にお問い合わせください。



▲写真提供:東京芝・最勝院蔵

#### 久米南町出身のスーパースター ☆

#### 浄土宗の開祖。 ほうねんしょうにん 法然上人

人として真の生き方を求めよ。父の遺言に発心して、15歳で比叡山に登り、43歳で浄土宗を開宗。「南無阿彌陀仏を唱えるところに必ず救いがある」という一切衆生の救済を打ち立てた法然の教えは画期的で、たちまち日本中の人々の共感を生むこととなります。(1133年～1212年)

### 美咲町

#### 日本棚田百選

#### おおはがにし 大井和西の棚田

神聖な山々に囲まれた標高400m、360度すり鉢状の大きな谷に約800枚の田が連なる、岡山県を代表する棚田です。見渡す限り眼下に広がる、人と自然が織りなす造形美のパノラマは、四季折々の表情を見せてくれます。初夏の田植え直後は水が満々とたたえられ、夕日が映り込む風景は息を呑む美しさ。秋に黄金色の稲穂がたなびく風景もおすすめです。多様な生態系や、昔ながらの農作業や神事が残る場として、注目を浴びています。

【所在地】岡山県久米郡美咲町大井和西

【問合せ先】美咲町役場産業観光課 電話0868-66-1118

【アクセス】JR津山線「亀甲駅」下車 かめっちバス30分



※農林水産省棚田百選パンフレット表紙 ▲写真提供:美咲町

1周5.2km。ウォーキングで自然散策しながら沢山の絶景ポイントを楽しめます。



▲写真提供:美咲町

#### 美咲町出身のスーパースター ☆

#### 明治の実業家。 きしだ ぎんこう 岸田 吟香

青年期に江戸へと旅立ち、目録、新聞、英和辞書、盲啞学校等、数々の「日本初」を生み出し、文明開化に大きく寄与しました。葬儀には伊藤博文や桂太郎総理なども参列しています。地元では卵かけごはんを世に広めた人物としても有名です。(1833年～1905年)

学生時代、な～んにも無い。と思っていた故郷には、美しい伝統文化と自然と共生する人々の営みがありました。法然上人も岸田吟香も今でいう社会活動家。新しいことに果敢にチャレンジし、世の為に生涯を尽くした生き様に改めて尊敬の念を抱きます。取材を通じて、自分のルーツを知り、誇りを持たせたことで、大地に根を張るようなパワーを得た感覚です。皆さんも故郷の歴史や文化に触れることで、何か新しい発見があるのではないのでしょうか。(平3卒 日下 ゆりあ)


 法学部教授  
 体育会剣道部長  
 博士(法学)  
**神橋 一彦**  
 Kambashi Kazuhiko  
 立教大学  
 〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1  
 Tel. 03-3985-2542 Fax. 03-3983-0174  
 E-mail: kambashi-k@rikkyo.ac.jp

昭和 58 年卒

**UNAGI DESIGN OFFICE**  
  
  
<https://unagi-design.com/>

平成 3 年卒

一緒に、サクセス!  
**Woman's カレッジ**  
 <経営支援サービス>  
 株式会社 ウーマンズカレッジ  
 代表取締役社長 日下 ゆりあ  
 〒103-0013  
 東京都中央区日本橋人形町 1-10-3  
 スクエアコート日本橋人形町11F  
 TEL: 03-3668-3030 FAX: 03-6231-1503  
 MOBILE: 090-3764-3113  
 E-MAIL: kusaka@womans-c.com  
<http://www.womans-c.com>

平成 3 年卒

ますいち  
美土路 昌一先生を想う  
—全日空創業者の志—

片岡 廣治郎  
(昭35卒)



自分が今日、安寧な老後をおくることができるのも美土路先生のお陰だと思っています。昭和39年の10月、就職活動も後期になったころ、当時入寮していた「鶴山館」の理事に全日空の相談役だった美土路先生のところへ就職のお願いに連れて行っていただきました。「何とかやってみよう」とおっしゃっていただいたことを覚えています。後で分かったことですが、その翌月の11月に先生は朝日新聞の社長に就任されています。まさに滑り込みでのお願いだったのです。翌年の40年に念願かなって入社することができました。美土路先生に直接ご指導を受けることはありませんでしたが、先生の足跡を身近に知ることができました。会社の発展とともに感謝の念を忘れることはありませんでした。そんなこともあり、人生の節目、節目には中山神社の前にある先生のお墓にお礼と報告を兼ねてお参りをしてきたのです。美土路先生は明治19年に津山市の一宮にある由緒ある中山神社の関係者の家に生まれ、幼いころから国学者でもある甘粕政和宮司の影響を強く受けて育ちました。津山中学に進み早稲田大学を経て明治41年朝日新聞社に入社、昭和15年には編集総長にもなられました。航空部長も兼務していた時期もあり、そのころ航空の将来性を強く感じられておられたのだと思います。終戦前には朝日新聞をやめ帰郷されていましたが、戦後上京し敗戦で職を失った民間のパイロットや整備士を救済するための興民社を昭和20年に立ち上げました。占領下で苦労を重ねながら航空の再開を夢見て雌伏7年、昭和27年、日本ヘリコプター輸送(株)としてヘリコプター2機を確保してスタートしました。全日空のツーレーターコードが未だにNHなのは、その時の登録がそのままだからなのです。そして、昭和32年12月全日本空輸(株)に社名を変更、定期航空会社としての翼を広げていきました。先生は昭和36年に社長を退任、やはり岡山出身の岡崎嘉平太先生を後任に招聘し会長になられています。今や全日空は日本一だけで

プロフィール

- 昭和16年 現真庭市に生まれる。地元小中学校を経て津山高校に進学
- 昭和35年 津山高等学校を卒業
- 昭和40年 早稲田大学卒業
- 昭和40年 全日本空輸株式会社入社
- 平成15年 新東京空港事業株式会社社長に就任
- 平成13年 財団法人(現公益財団法人)鶴山館評議員就任
- 平成19年 理事「塾監」同30年に退任、同年評議員に就任、
- 平成22年 津山高校関東同窓会会長に就任。4期8年務める。現在顧問

なく世界でもトップクラスの航空会社に成長を遂げたのですが、ここまで来るには脈々と繋がっている創業時からの精神があったからこそだろうと思います。規制の多い航空業界の中で純民間航空を貫いていくには野武士的在野精神とボトムアップを大切にする活力ある社風を醸成し、「現在窮乏、将来有望」を掛け声に全社を引っ張って来た美土路先生の存在があったればこそできたのです。その後、先生は朝日新聞社の社長に迎えられ、お家騒動のあった社内を収め昭和42年に同社を退社、昭和48年、86年の波乱万丈の生涯を終えられました。



▲美土路 昌一氏



▲美土路氏 墓

美土路 昌一(みどろ ますいち)  
明治19年岡山県苫田郡一宮村(現津山市)に生まれる。明治37年、津山中学校を卒業。早稲田大学を経て東京朝日新聞社に入社。昭和27年日本ヘリコプター輸送株式会社を設立。社長に就任。昭和32年全日本空輸(株)に社名変更。全日本空輸(株)の初代社長に就任。昭和33年津山高校東京同窓会を中心に立ち上げる。初代の副会長に就任。昭和36年社長を退任。昭和39年朝日新聞社社長に就任。昭和42年社長を退任。昭和48年86歳で逝去。


**日下 ヤスユキ**  
 代表取締役CEO  
 アストロラゴ株式会社  
 〇 https://www.astrolab.co.jp  
 〇 100-0004 東京都千代田区大手町2-6-2日本ビル4階  
 ☎ 03-4400-1822  
 ✉ yas@astrolab.co.jp

ASSETZ スマホで簡単登録! 0円からはじめる商品・資産管理クラウド  
 https://assetz.work

プロモーションコード  
 KSKNC

平成4年卒

明治11年創業  
**中島病院**  
 院長 **中島弘文**

〒708-0052  
 津山市田町122  
 電話(0868)22-8251  
 g-naka@ra3.so-net.ne.jp

平成4年卒

Marco Polo Japan  
 海外イベントチケット

代表取締役  
**花村 浩二**

**有限会社マルコポーロジャパン**  
 〒136-0071 東京都江東区亀戸8-26-5-1405  
 TEL:03-5628-3822 FAX:03-5628-3823  
 Mobile: 090-1996-1773  
 URL:http://www.mpj-ticket.com  
 E-mail:rubsoul@mpj-ticket.com

平成4年卒

# 寄稿 「こんなことやってます！」

## 会社人間から 市民ボランティアへ

プロフィール

津山市出身

昭和45年

昭和45年

明治大学法学部卒業

株式会社京王百貨店入社

在職中は食品、ファッション、営業企画、

サービス、総務などを歴任

(労働組合役員歴15年)

平成16年 京王運輸株式会社(常務取締役)

趣味:洋画鑑賞、DIY、ゴルフ



赤木 省三氏  
(昭和41年卒)

津山高校から東京の大学に進学し新宿の百貨店に就職したことから、休日は交代でとるうえに、土曜・日曜・お盆・正月などは休みにくく、時間的には9時半から20時頃までは会社にいるという生活の毎日でした。そのため学校や地域の行事にも参加できないことが多く、仲間達とも自嘲気味に「寝るときだけ市民の夜間定時市民だな。」と語りあうほどでした。

そうしたこともあり津山に母が1人で生活していたことも考えあわせ60歳の定年を迎えたタイミングで会社を完全にリタイアしました。定年後は現役時代に帰れなかった津山にも1~2ヶ月おきに帰省しながら、現役中の罪滅ぼしと東京に居るときの自己実現?の場として見つけたのが地域貢献のボランティアでした。

そのひとつが「八王子市消費生活啓発推進委員」という消費生活センターのボランティアです。これは悪質商法、環境、くらし、食品など消費生活全般について啓発を行う活動です。年間にイベントを配置し、テーマ、展示、キャンペーンの内容を企画し、市民に「賢い消費者」の啓蒙やPRを行っています。

もうひとつは「生ごみは捨てればゴミ、利用すれば資源」を実践するボランティアとして「八王子市生ごみリサイクルリーダー」の認定を受け、もみ殻クンタンや竹パウダー等の入ったダンボール箱に生ごみを3ヶ月位入れ続けて堆肥を作る「ダンボールコンポスト」講習の講師をすることです。これは市民一人ひとりの立場で環境に対してできる活動を主眼にしています。ただこの堆肥作りは使命感や義務感だけでやるのではなく、①生ごみのない可燃ご



み袋はサイズが半分以下  
②微生物で分解することの面白さ③出来上がった堆肥が良質で使いやすいなど、一歩進んだエコライフを楽しむことを中心に講習をすすめ、より多くの市民が参加してくれるようにがんばっています。

代表取締役 / オーナーシェフ  
フードプロデューサー  
**難波 秀行**  
Hideyuki Namba  
namba@petaledesakura.com

レストラン ベタルドの サクラ  
株式会社 さくら喫茶  
〒245-0008 横浜市泉区弥生台5-2  
Tel.045-443-5876  
Fax 東京キッチン直通電話 Tel.045-443-5874  
www.petaledesakura.com

平成4年卒

代表取締役社長  
**須江 健治**  
SUEMOKKO

株式会社 すえ木工 <http://www.suemokko.co.jp/>

■本社・家具事業部  
〒708-0861 岡山県津山市八出244-1  
Tel: (0868)-23-4481 Fax: 23-4483  
Mail: suemokko@suemokko.co.jp

■FRIM事業部  
〒708-0861 岡山県津山市八出493  
Tel: (0868)-23-4050 Fax: 23-4978  
Mail: suemokko.rim@suemokko.co.jp

平成5年卒

## 岩手県大船渡市で 「市民大学」を立ち上げて



藤田 太郎氏  
(平成28年卒)

プロフィール

平成9年 津山市生まれ

平成29年 東京大学教養学部文科三類 入学

令和2年 現在 東京大学文学部

人文学科社会学専修課程4年

岩手県大船渡市。この地名に聞き覚えのある方も多いのではないのでしょうか。東日本大震災の津波で大きな被害を受けた三陸沿岸の地方都市です。私は昨年2月に岩手県大船渡市の民間まちづくり会社で1ヶ月半のインターンシップを行い、そこで市民大学「大船渡まちもり大学」を立ち上げ、現在は月に一度東京と大船渡を行き来する生活を送っています。

この市民大学は大船渡市の再建された中心市街地をフィールドに、高校生と社会人が一緒にまちづくり活動を行うことを通じ、次世代のまちづくりの主役となる人材を育てることを目的とした「まちづくりコミュニティ」です。内容は、先進的に地域活動に取り組む住民から「街に対する思い」を学び、自分が地域でやってみたいことを考え、実際にチームでプロジェクトを立ち上げ実践するという三つのステップで構成されており、10代から40代までの30名ほどの住民が参加しています。

創設・運営メンバーとして活動に参加する中で、私は高校生の行動力とアイデア力に驚かされました。高校生の「地域を巻き込んだ学園祭がやりたい」という提案から始まったプロジェクトは、商店街と地域の大人を巻き込んだ街の一大イベントとなりました。イベントを終えた後の彼らの顔は自信に満ち溢れており、地域の大人からは「高校生から刺激を受けた」といった声が聞かれました。いかに彼らをまちづくり活動に巻き込むか、そしていかに多くの成功体験を積み重ねてやれるかが地域の将来にとって重要だと感じました。



▲過去の講義内容を振り返り、プロジェクト立案に臨む

私の学生生活は後一年で終わりますが、社会人になってもこのような地域づくり活動に携わり続け、最後は各地での経験を津山に持ち帰って地元の「まち育て」に貢献したいと思います。

ロイド・ABS・NK・CCS・DNV/GL 船級認定工場  
鋳造・木型・熱処理・機械加工  
**株式会社 光岡製信所**  
代表取締役 **光岡 宏文**  
Hirofumi Mitsuoka  
(鍛造技士) (UT-LEVEL 2)

【本社工場】 〒708-0857 Tel: (0868) 26-0145  
岡山県津山市福力16 Fax: (0868) 26-5029  
U R L : <http://www.mitsuoka.co.jp>  
E-Mail : [hirofumi@mitsuoka.co.jp](mailto:hirofumi@mitsuoka.co.jp)  
mobil : 090-8719-3406

平成6年卒

# 関東同窓会役員・常任委員一覧 2019

**会長** 増田 美子(昭37卒)    **副会長** 竹内 妙子(昭36卒)    **副会長** 中島 純三(昭42卒)    **副会長** 水田 潤子(昭46卒)  
**副会長**(事務局長) 山本 大 (昭49卒)    **副会長** 日下 康幸(平4卒)    **監事** 佐菜 慎二(昭36卒)    **監事** 泉 昭正(昭37卒)  
**顧問** 片岡廣治郎(昭35卒)  
**総務担当委員** 堀内 慎一(昭42卒)    **総務担当委員** 植月 雅文(昭46卒)    **総務担当委員** 永松 呉葉(昭48卒)    **総務担当委員** 山田 雅義(昭50卒)  
**総務担当委員** 広野 晃子(昭50卒)    **総務担当委員** 松田 匡司(昭54卒)    **総務担当委員** 早瀬 徹 (昭63卒)    **総務担当委員** 日下 ゆりあ(平3卒)  
**総務担当委員** 國井 美由紀(平4卒)    **総務担当委員** 小谷 匠平(平11卒)    **総務担当委員** 和田 有希(平22卒)

卒業年	氏名
昭18	高橋 孜子
昭22	浮田 裕之
昭22	福井 富枝
昭26	小賀 由章
昭26	竹久 美与子
昭27	久本 昌夫
昭28	三宅 寛子
昭29	原 光穂
昭29	安藤 美恵子
昭30	金築 順子
昭31	白岩 良一
昭31	大谷 昌子
昭32	友保 隆晴
昭33	福原 毅
昭33	柿内 扶仁子
昭34	奥田 恭彦
昭34	岩下 尚子
昭35	高本 征治
昭35	馬場 史郎

卒業年	氏名
昭36	近藤 達也
昭37	斎藤 正子
昭37	黒田 悦司
昭37	大森 慎
昭37	山本 茂樹
昭38	澤谷 豊
昭39	衣笠 一成
昭39	安藤 淑子
昭40	草地 八寿郎
昭41	赤木 省三
昭41	高橋 伸昌
昭41	井上 幸恵
昭42	安藤 三男
昭42	天池 恵
昭43	神家 康博
昭44	栗 二公雄
昭45	木多 務
昭45	福田 正志
昭45	高畠 範真

卒業年	氏名
昭46	檜尾 守昭
昭46	大河原 優子
昭47	有吉 啓子
昭47	原 雅彦
昭47	谷岡 宏
昭48	菱川 英章
昭49	林 敏彦
昭49	松下 いづみ
昭50	額田 洋一
昭50	山本 博文
昭50	田和 一樹
昭50	幡上 敬子
昭51	佐竹 康宏
昭51	岡田 恵子
昭52	角南 元司
昭53	阿部 達彦
昭53	山口 ゆりか
昭54	河本 倫子
昭55	内田 達也

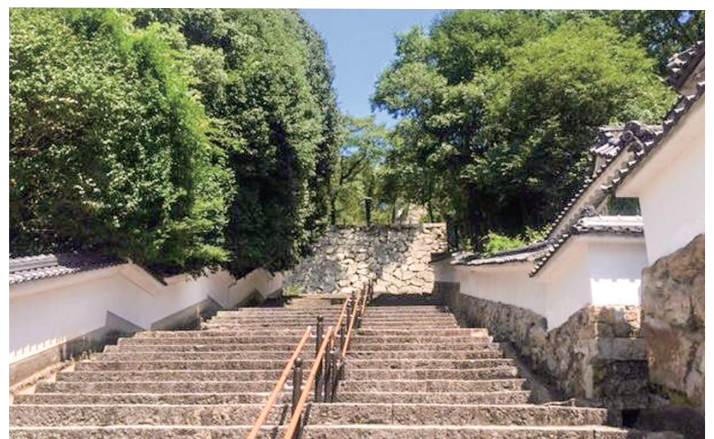
卒業年	氏名
昭56	山本 進
昭56	石田 徳子
昭56	久保 明美
昭57	照尾 彰教
昭57	杉原 隆世
昭58	神橋 一彦
昭58	後藤 かおり
昭59	安田 明弘
昭59	片山 政周
昭60	枝並 輝之
昭60	山本 敏伸
昭61	黒田 俊恵
昭61	芦田 将
昭62	岡野 洋士
昭62	谷口 太郎
昭63	小山 将良
昭63	繁定 正典
平2	中西 孝
平3	谷口 聡

卒業年	氏名
平3	宇那木 孝俊
平4	花村 浩二
平4	坂本 匡史
平4	北山 栄美
平5	徳田 泰二
平5	久常 健
平5	磯田 暁男
平5	山縣 政宏
平6	若山 圭介
平6	春名 伸昭
平7	山下 弘展
平7	小堀 さとみ
平7	武藤 由紀恵
平7	森 亜矢子
平8	日上 多聞
平14	宮島 聡子
平22	西本 卓司
平26	日笠 比咲子
平28	藤田 太郎
平28	石村 遼太

■ 常任委員ご不在の年度の方は、早急に常任委員を決定しご連絡ください。  
 ■ 同期の方の住所等についての問い合わせや住所変更などの連絡は、事務局へお願いします。

## ご案内

2020年8月15日(土)津山で開催予定の  
 津山高校全体懇親会は中止となりました。  
 総会は常任委員・期代表委員による  
 書面開催となります。



代表取締役社長  
**若山 圭介**  
 本社  
 〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-23-1  
 TK新都心ビル 10F  
 TEL 03-5909-7145  
 FAX 03-5909-7146  
 E-mail:k.wakayama@wprosp.co.jp  
 SOEIホールディングス株式会社  
 双栄基礎工業株式会社  
<http://soei.tokyo/>

津山・岡山県北の今を読むなら  
**津山朝日新聞**  
 夕刊紙・月刊紙  
**津山朝日新聞社**  
 広告・ちらし全般・自費出版  
 〒708-0052 岡山県津山市市町13  
 TEL: 0868-22-3135 FAX: 0868-24-3184

明治24年以來の歴史を刻む岡山県出身者の寮  
 ●冷暖房完備、広い個室、スポーツ施設併設  
 ●2食付で安い寮費など、学生生活環境が整っています  
 公益財団法人 **鶴山館**  
 〒202-0013 東京都西東京市中町5-10-8  
 ☎042-422-5951

## 謹んでお悔やみ申し上げます

2019年3月から2020年2月までに文書でお知らせのあった方のみを掲載しています

昭和7年卒 瀬尾 文子様	昭和20年卒 和田 茂子様	昭和27年卒 垂井 徹雄様	昭和32年卒 池上 達也様	昭和43年卒 梶並 寛様
昭和14年卒 額田 初枝様	昭和22年卒 植月喜久子様	昭和27年卒 松岡 玲子様	昭和32年卒 横山 貢佑様	昭和53年卒 春名 信良様
昭和19年卒 本郷 弘子様	昭和22年卒 前島 静枝様	昭和28年卒 西 靖子様	昭和32年卒 春原 立子様	昭和55年卒 世良 光子様
昭和19年卒 河内 さつき様	昭和23年卒 尾島 正之様	昭和29年卒 福井 啓介様	昭和37年卒 大石 勝昭様	
昭和20年卒 川口 ソヨ様	昭和25年卒 久永 操様	昭和30年卒 今田 収様	昭和37年卒 能勢 和男様	
昭和20年卒 前橋 英夫様	昭和27年卒 深水 誠様	昭和31年卒 小原 莞爾様	昭和41年卒 高山 昌文様	
昭和20年卒 竹内 和子様	昭和27年卒 末澤 文雄様	昭和32年卒 朝比奈理雄様	昭和42年卒 岡本 伸夫様	



## 2020年度関東同窓会懇親会 中止のご案内

2020年10月10日(土)開催予定の関東同窓会ですが、懇親会は中止とし、総会は書面開催とさせていただきます。

### ホームページ委員会

ホームページ委員の交代がありました。下記メンバーで今後のホームページ・Facebookの運営をして参ります。ホームページ・Facebookに関してのご意見・ご要望等がございましたら、事務局までお寄せください。委員会で検討させていただきます。

委員長：日下康幸(平4卒)

副委員長：堀内慎一(昭42卒)

委員：越智祥子(平6卒) 小谷匠平(平11卒)

和田有希(平22卒) 河原正明(平27卒)

石村遼太(平28卒) 藤田太郎(平28卒)

### 関東同窓会ホームページについて

Webにて関東同窓会を紹介しています。パソコン・スマホからホームページをぜひチェックしてみてください。

関東同窓会公式サイト

<http://tsukou-kanto.com> (パソコン・携帯共通)

QRコード



津山高校関東同窓会

検索

### 関東同窓会活動支援金及び新入生歓迎会援助金のお礼

昨年の同窓会総会・懇親会の御案内時にお願いをさせていただきました同窓会活動支援金ですが、62名の方から179,000円のご支援を頂きました。

また、関東地域の新住民となる津山高校卒業生を対象とした「新入生歓迎会」にも8万円の活動資金が寄せられました。尚、今年の「新入生歓迎会」は、新型コロナウイルスの関係で開催を見送らざるを得なくなってしまいました。お寄せいただきました活動資金は来春に、有効に使わせていただきます。

### 同窓会費納入のお願い

本同窓会は皆様が納入して下さる会費で運営されています。会費納入をしてくださっている同窓生の皆様のご協力に感謝いたします。本会の安定的な運営ができますよう会費の納入のご協力を引き続きお願いいたします。

### 関東同窓会だよりの広告募集

関東同窓会だより6号の広告を募集いたします。皆様からの協賛をお待ちしております。

- サイズ：横6.2cm×縦3.8cm
- 協賛金：一口5,000円
- 申し込み締め切り：2020年12月31日
- 申し込み先：事務局 TEL 080-9985-8892

### 作品展への出品のお願い

今年度の関東同窓会は残念ながら中止となりましたが、来年度の皆様の出品をお待ちしております。

- 作品サイズ  
絵画：10号程度 書画：軸装で半切程度  
陶器：5点位まで

## 編集

## 後記

今回の『関東同窓会だより』は新型コロナの影響もあり、毎回事務局に集まって開催していた編集委員会は開催自体を自粛。電話やメール、SNSの活用など新しい取り組みを多用して出来上がりました。新しい取り組みややり方を追求し時代に合わせながら伝統ある母校の同窓会活動を継続していきたいと考えています。お読みいただき内容や取り組みへのご意見ご要望をお聞かせくださると幸いです。(小谷匠平)

### 〈編集委員〉

編集委員長：水田潤子(昭46卒)

編集委員：竹内妙子(昭36卒) 堀内慎一(昭42卒) 植月雅文(昭46卒) 永松呉葉(昭48卒) 山本大(昭49卒) 松田匡司(昭54卒)

日下ゆりあ(平3卒) 國井美由紀(平4卒) 小谷匠平(平11卒) 和田有希(平22卒)

オブザーバー：片岡廣治郎(昭35卒) 泉昭正(昭37卒) 中島純三(昭42卒)

表紙題字：光井一輝(平27卒)

津山高校関東同窓会だより 第5号 2020年 発行人 増田美子